

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ITビジネス演習 I（TDB109）	配当学年	1
講義名（コード）	ITビジネス演習 I（TDB109）	単位数	2
対象学科	グローバルビジネス学科	時間数	30
対象コース	デジタル・ビジネスコース	講義期間	春
専攻		履修区分	必修
授業担当者	佐藤貴志／溝口陽介	授業形態	講義
成績評価教員	佐藤貴志	実務者教員	はい
実務者教員特記欄			

2. 本授業科目の概要

目的（位置づけ）	
到達目標	
全体の内容と概要	
授業時間外の学修	
履修上の注意事項	
特記事項	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
評価	評価基準	評価内容	
S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。	
A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。	
B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。	
C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。	
D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。	
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	日程	講師	授業内容
1	4月17日	担任	・ 講義の目的、取り組み、心構え、評価方法
2	4月24日	MYWAYDESIGN	MYWAYDESIGN
3	5月1日	授業なし	
4	5月8日	MYWAYDESIGN	成功事例とノウハウ
5	5月15日	MYWAYDESIGN	SNSをめぐる市場状況とこれからのネット戦略
6	5月22日	(健康診断予定)	授業なし
7	5月29日	担任	Group Work
8	6月5日	MYWAYDESIGN	Group Workと発表会
9	6月12日	担任	社会の中でのDXを理解し、将来スコープを描く Smart City Projectへの取り組みを導入、今後の授業の目的を認識
10	6月19日	富士通 木村様	会社概要・事業概要 最近の社会課題とプロジェクトテーマ
11	6月26日	富士通 木村様	IoTプラットフォーム 導入事例と顧客価値
12	7月3日	担任	富士通 木村様の講話のまとめ
13	7月10日	居山	Building SystemでのDX事例
14	7月17日	期末試験	・ 【演習】 DXは企業に何をもたらすのか？（事例を含めて説明）
15	7月24日	追試	・ 期末課題レポートに取り組む（DXは企業に何をもたらすのか？）

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	